

2021
9・20

月4回
月曜日発行

第1214号

週刊ビル経営

発行所 株式会社ビル経営研究所
〒104-0061
東京都中央区銀座7-17-12 2F
TEL 03(3543)7421
FAX 03(3543)5839
発行人 垂澤清三
年間購読料 30,000円(税込)
KAMEOKA NEWS AGENCY CORPS
亀岡大郎取材班グループ

ソーコに学ぶ ビル経営



イーソーコ総合研究所
代表取締役 出村 亜希子
奈良女子大学大学院修了後CM
会社を経て現職。一級建築士、
宅建士。「倉庫ドクター」とし
て建築面からオーナー支援に取り
組む。

ど知られ 移動式ボックスを使
ていませ った「イトランクボ
んでし ックス」も、倉庫を活
た。そこ 用した個人向けサービ
で事例を スによって、空いた倉
紹介する 庫を埋める施策を広げ
ウェアサ たいという思いで始め
イトの開 ました。荷物を入れた
設やムッ ボックスごとトラック
ク本の発 に載せて運び、賃料の
行といっ 安価な地方の倉庫で預
た発信を かる仕組みです。ボツ
行い、ニ クスは積み重ねも可能
ーズを掘 でトラックや倉庫の体
り起こし 積を最大限に活用で
き、無駄がありません。

「物流不動産ビジネス」は、倉庫を活用し、提唱した「ウェアハウスタイル」という言い換えてもいいか、葉も定着し、今ではスもしれません。床(面)をタイル化しています。それまでの倉庫ユビで、今年新しく立ち上げた「シェアクラ」は、専用段ボールに荷物を入れて発送し、料金に預けるもので、料金は1箱100円から。

「物流不動産ビジネス」は、倉庫を活用し、提唱した「ウェアハウスタイル」という言い換えてもいいか、葉も定着し、今ではスもしれません。床(面)をタイル化しています。それまでの倉庫ユビで、今年新しく立ち上げた「シェアクラ」は、専用段ボールに荷物を入れて発送し、料金に預けるもので、料金は1箱100円から。

第40回「需要を生み出す面白さ」

様々な空間の時間貸しサービス「レンタルソーコ」も、倉庫を自由な発想で使ってほしいという発想で生まれました。空いている倉庫、スペースの空き時間などの収益化が目的ですが、倉庫を身近に感じてもらいたいという狙いもあり、コロナ禍以前は「倉庫で鬼ごっこをした」と、結婚式を挙げたいなどの要望も寄せられ、その発想には驚き。倉庫の活用方法の幅が広がりました。また新たな掛け合わせが生まれる。物流不動産ビジネスの可能性に、私たちが気づかされる。その面白さがあります。

例えば築古の倉庫を改装して新たな価値を付加し、再生させる「倉庫リノベーション」。7、8年前に私たちがこのスキームを始めたころは、ほとんどもあります。